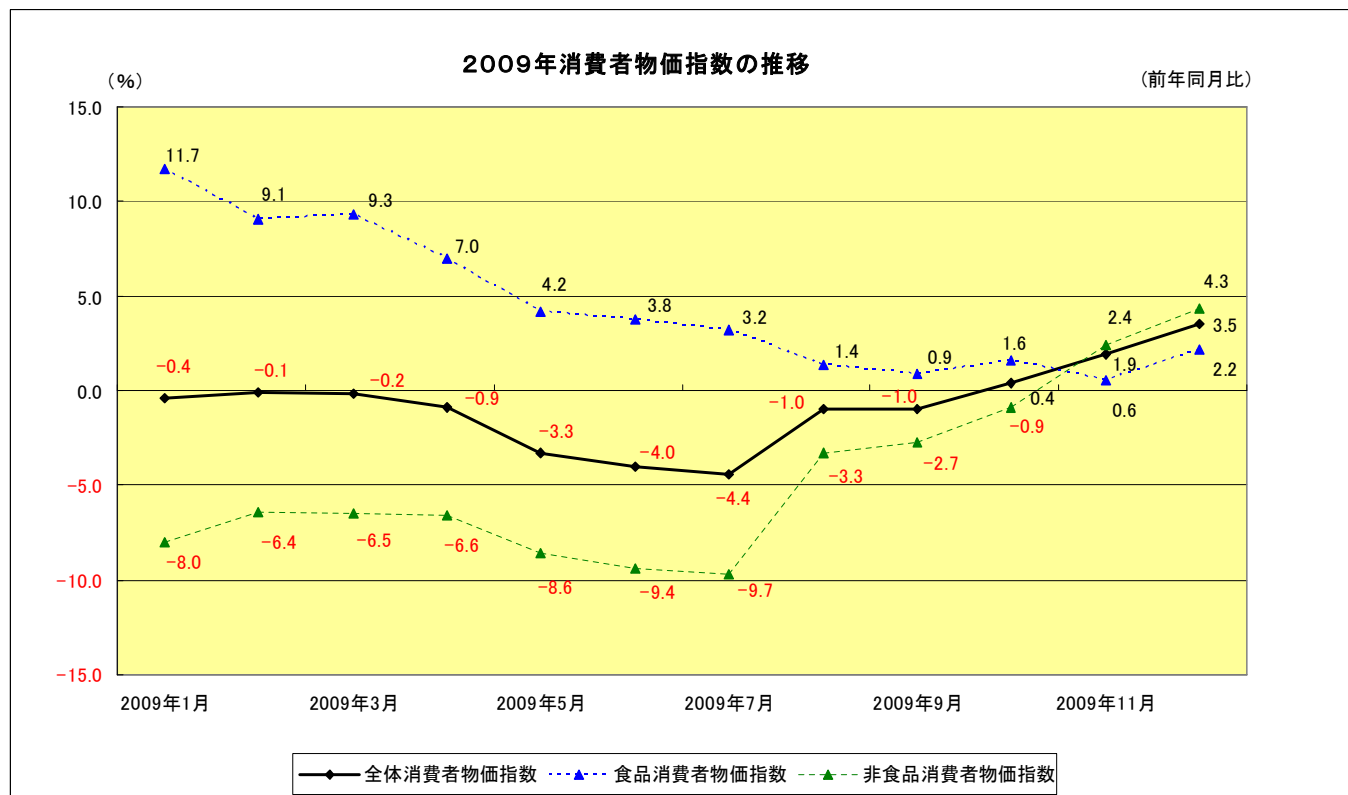


【バンコック駐在員事務所】

「2009年のタイ消費者物価指数」

- タイ商務省が発表した2009年通年の一般消費者物価指数（CPI、417品目、速報値）は前年比では、マイナス0.9%となりました。世界同時不況における原油の価格下落、政府による消費者の負担軽減策などで、CPI上昇率は1月から9月まで9ヵ月連続でマイナスとなりましたが、10月からプラスに転じました。グローバル景気の回復に伴う原油価格の上昇や国内需要の改善によりインフレ圧力が醸成されつつあります。
- 食品消費者物価指数は前年比4.4%上昇しました。非食品消費者物価指数は同マイナス4.8%となりました。
- 生鮮食品とエネルギーを除く基本消費者物価指数（コアインフレ）上昇率は前年比0.3%となりました。
- タイ中央銀行の発表によると、2010年は国内消費が引き続き拡大し、農産物の価格も上昇を続けるものと見込んでいます。この結果、2010年の消費者物価指数上昇率を3.0～5.0%と予測しています。



《中央銀行のデータをもとにバンコック駐在員事務所が独自にグラフ作成》

【出所:タイ商務省・タイ中央銀行 HP、地元新聞記事等】

照会先:法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京)電話 03-5223-6672
(大阪)電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 * 禁無断転載